

土曜あそび塾

世界の楽器で楽しくセッション

6月20日(土) 誉田公民館にてあそび塾が開催されました。講師は、日本から世界までの幅広い歌や民族打楽器で活躍されている入江 則夫さんです。この日は、土曜あそび塾の子ども達のために、世界の楽器をたくさん持ってきて下さいました。

入江さんは、公民館の多目的室に集まる子ども達を優しく迎え、自由に楽器を触らせて下さり、子ども達の緊張を和らげてくれました。今期のあそび塾では、まだ自己紹介をしていなかったこともあり、はじめに学年ごとに自分の名前と通っている小学校名を発表してもらいました。

そして、最初に演奏して下さいしたのは心地良い音色の「三線(さんしん)」。耳を傾ける子ども達は、穏やかな顔をしていました。



< 楽器の紹介 >

たくさんの楽器を一つずつ紹介してもらいました。

サンバに欠かせない「アゴゴ」。ユーカリの木で作られた楽器は、本の様な形の箱形ですが、中が迷路のようになっていて、奏でる音は神様と交信出来るような神秘的な音色の「ユジュリジュ」。木の実で作った「チャフチャス」。山羊の皮で作られたタンバリン「パンデイロ」。オルゴールのような音色の「カリンバ」。バウンドやたたき方によって3つの音が出せる太鼓「ジェンベ」。

波の音が出せる楽器、などなど・・・。

変わった楽器では、カエルの形をしていてゲロゲロと本当にカエルが鳴いているように聞こえるペルーの楽器「ギロ」。鼻息で演奏する楽器で、音を出すのは難しい「ノーズフルート」。(いち早く音を出せている子がいたのには、びっくりさせられました!)他に、手作りの楽器もありました。笛や缶の中に小豆を入れた楽器・コーンを入れた楽器は、子ども達に、どんな物でも楽器になることを教えてくれました。



仲良く楽器を楽しむ6年生



得意な楽器でがんばる

<みんなで演奏>

自己紹介と楽器の紹介が終わった後で、1人ずつ好きな楽器を選び演奏会をしました。「小さな音の出る楽器からだんだん大きな音の出る楽器が順番に音を出して、一緒に演奏してみましょう！」入江さんの音楽に合わせて真剣な子ども達。失敗をおそれてあまり音の出せない子、全く人の事はおかまいなしで楽器を叩く子もいました（音楽を楽しんでいればいいのです）。

次に、「1から8の数字で好きな数字を選び、数を唱えるので選んだ数字の時だけ音を出す演奏をします！」ゆっくり数えはじめた入江さんの声が、だんだん速くなった頃には、みんな笑顔でめちゃくちゃな演奏を楽しんでいました。さらに、「おとととーすうとんとんのリズムに合わせての演奏！」だんだん気持ちが1つになり始めました。他の人の音に耳を傾ける余裕が出てきて、曲らしくなってきたので子ども達の気持ちも高まります。そして、沖縄の踊りも教えてもらいました。窓を両手で開けては閉める動作を繰り返す踊りです。



最後は、Kちゃんの出す波の音に合わせて、入江さんが「島唄」を演奏してくれました。目をつむって聞く子もいれば、演奏と一緒にする子もいて、みんなが音楽を楽しみ、音楽でコミュニケーションを取ることが体験できていたと思います。はじめはバラバラだった子ども達ですが、入江さんに合わせて踊ったり、演奏したりすることで徐々に気持ちが1つになって、最後にはすばらしい演奏をしてくれました。曲の終わりもみんなぴたっと終われるようになりました。音楽の力を改めて知った一日でした。遠くからたくさんの楽器を持ってきて教えて下さった入江さん、本当にありがとうございました。（記 田中）